

1 事業概要

事務事業名		中小企業金融対策事業		課名	金融政策課	事業No.	208
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	S46	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
	法令・例規等			飯田市中小企業振興資金融資あっせん規則			
事業目的		対象	市内の中小企業者等（中小企業者・個人事業者・中小企業団体）				
		意図	経営安定、事業拡大等のための運転資金又は設備資金の調達容易化				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	金融政策課の基幹業務である中小企業振興資金を正確かつ適正に運用しました。起業支援諸施策の奏功も相俟って、当市扱い分の融資あっせんは、H29の456件・2,559,250千円に対し、本年度は388件・2,256,630千円となり、件数は減少したものの金額的には概ね同水準となりました。 中小企業の資金需要、地域の経済環境及び市の産業施策を的確に捉えて、地域の中小企業に必要とされる資金メニューとなるよう、常に制度の検証を行っています。		中小企業振興資金保証料補助				58,129	
			中小企業振興資金貸付預託金				1,300,000	
			その他の経費					0
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	中小企業振興資金の制度見直し実施回数	回		1	1			
30年度 決算 (千円)	予算額	1,500,000	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,358,129	(そ) 中小企業振興資金貸付預託金回収金					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	1,300,000					
一般財源	58,129							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	3	11	1	1,500,000	1,358,129	中小企業金融対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		安定した事業運営ができています。特に、I-Portの設置を受け、I-Port支援事業者専用の中小企業振興資金「I-Port支援資金」が効果を上げています。この資金は被支援事業者が負担する信用保証料の全額を市が負担する代わりに、案件に関わる加盟支援機関の全ての合意がなければ融資あっせんしないというハードルが高い資金メニューですが、4件の事業者の革新的な新事業に対して実行することができました。ビジネス支援制度の充実と併せて本資金の利用増加を進めます。							
上記の課題解決のための有効策		ビジネス支援諸施策の効果的な展開の成果が、本事業による融資あっせんの成果に結び付くように、各種の施策と中小企業振興資金の融資メニューとの連携を検討していく必要があります。一方で、市中金融機関によるプロパー融資の機能を阻害することなく、信用力の低い中小企業の資金需要に積極的に応えていける確かな制度運用も必要です。							
次年度に向けての取り組み		ビジネス支援施策と的確に連動する中小企業振興資金の制度について不断に検証するとともに、国の金融政策、リニア関連工事等の進捗その他の状況変化を的確に捉えて、中小企業振興資金のメニューの見直し検討を行います。							